

2017年4月3日

2017年度 イビデン株式会社 入社式を挙行

イビデン株式会社(本社:岐阜県大垣市、代表取締役社長:竹中裕紀)は、4月3日(月)10時45分から、本社・多目的ホールにおいて、2017年度入社式を行いました。今年度の新入社員は94名(イビデン:63名、グループ会社31名)です。社長の訓示後、新入社員を代表して木俣柚紀(きまた ゆき)が宣誓を行いました。



竹中社長からの訓示



新入社員による宣誓

【竹中社長 訓示の内容(要旨)】

皆さん、入社おめでとうございます。

本日、若くハツラツとした皆さんをイビデングループに迎えることができ、大変嬉しく思います。

当社は、5年前に創業100周年を迎えました。私たちの先輩は、試練に遭遇するたびに、一致団結し、英知を集めて新しい事業を興し、長い歴史を築いてきました。この英知を、100周年を機に「イビデンウェイ」としてまとめましたが、私たちもこれを実践していくことで、次の100年を生き抜く決意です。

今、世界はまさに激動の時です。政治、経済の変化に加えて、IoT、AI、人工知能といった新技術の進化により、私たちの生活も劇的に変化するという時に皆さんは入社されました。この世界を生き抜くにあたり、2つの心構えを大切にしていきたいと思えます。

1つ目は、あらゆる活動を「現地・現物・自掛」で行うということです。現地・現物で、自分で課題解決していくことで、成果・満足感を味わいながら、日々成長していただきたいと思えます。2つ目は、常にグローバルな視点で行動するという事です。少しずつでも英語を勉強して、あらゆる情報から、世界の動きを把握し、自分の考えで判断できるようになることで、激動の時代にあっても、冷静に活動していただけるようになることを期待しています。

当社は、日本生まれのグローバル企業です。皆さんが、これからイビデンウェイで日々成長し、世界中で活躍されることを期待しています。

皆さんがイビデングループで実り多い人生を歩まれることを祈念して歓迎の挨拶とさせていただきます。